

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 参加校受付について

参加校受付を、以下の期日・時刻・場所で行う。

大会プログラム・エントリー料の領収書等を配布するので、代表者1名が必ず受付に来ること。

期 日	受 付 時 刻	受 付 場 所
8月4日(日)	開門時刻～20時00分	正面玄関中央

開門時刻・閉門時刻については「申し合わせ事項」を参照すること。

3. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクピンは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳およびやり投の場合は12mm以下とする。
- 2) 許可を得ていないカメラやビデオなどでの撮影は禁止とする。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。学生以外で撮影を希望する場合は大会本部にて申し出を行い、撮影許可証を着用し撮影すること。

4. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは学連登録ナンバーを胸部と背部に確実に着けること。ただし、跳躍種目についてはどちらか一方でもよい。
- 2) トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ地点で係員に返却すること。

5. 各種書類について

大会当日の各種書類の配布及び提出の窓口については、下表の通りとする。

書類名	配布場所	提出先・依頼先
棄権届	招集所	招集所
リレーオーダー用紙		
記録証明書	大会本部	大会本部

6. 招集について

- 1) 競技者招集所はメインスタンド北側(100mスタート付近)の倉庫内に設ける。
- 2) 招集開始・完了時刻はタイムテーブルの通りとする。
- 3) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- 4) 招集完了時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。リレー種目の場合は招集開始時刻の60分前までにオーダー用紙が提出されなかった場合も、これに準ずる。
- 5) リレーオーダー用紙は主催者が用意したものに限る。オーダー用紙は招集所で配布する。リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙を当該種目の招集開始60分前までに招集所(競技者係)に提出すること。

7. 大会当日の棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は棄権届（招集所に用意）に必要事項を記入し、捺印をしたものを競技者係に提出すること。

8. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具は原則、主催者が用意したのものを使用しなければならない。
ただし、棒高跳用ポール及び投てき物は個人所有のものが使用できる。
- 2) 個人所有の投てき物の使用を希望する場合には、検査を受け許可されたもののみ使用を認める。
- 3) 投てき物の検査は、競技開始90分前から60分前の間に行う。なお、検査後の投てき物は一時的に競技場備品としての扱いとし、他の競技者との共用とする。破損に関しては、主催者側は何ら責任を負わない。また、返却は競技終了後に返却場所にて行う。検査場所及び返却場所については下表の通りとする。

用 具	検 査 場 所 及 び 返 却 場 所
砲丸・円盤・やり	器具庫3(100mスタート側倉庫内)

9. ウォームアップについて

ウォームアップは、開門から競技開始20分前まで競技場内で行うことができる。この時間帯の直線走路の使い方については下記の通りとする。これ以降の競技場でのウォームアップについては、周回種目中はバックストレートの7・8レーンのみで許可する。周回種目以外の競技中は、バックストレートでのウォームアップを認める。ただし、芝生内でのウォームアップは大会運営に支障が出るため禁止とする。また、競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

○直線走路

- ・1～2レーン：中長距離及びジョグ
- ・3～6レーン：短距離・スタートダッシュ練習
- ・7レーン：女子100mH用
- ・8レーン：男子110mH用

10. 競技について

1) 計時・計測について

トラック競技の計時は、写真判定機を用いて行う。(1/100秒)

2) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目	練習	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9	以後
男子走高跳 1組	1m60 1m80	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	+3cm
男子走高跳 2組	1m80 2m00	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	2m10	2m13	2m16	2m19	+3cm
女子走高跳	1m40 1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	1m77	+2cm

※第1位決定試技の際のバーの上げ下げは2cmとする。

※第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

3) 三段跳の踏切位置について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。男子の踏切位置は資格記録により主催者側が変更する場合がある。該当審判員または、審判長の判断で変更する場合もある。

4) ピットについて

男子走幅跳のピットの位置は、1組をAピット(スタンド側)、2組をBピット(トラック側)とする。
男子走高跳のピットの位置は、1組をAピット(ホームストレート側)、2組をBピット(バックストレート側)とする。

5) 男女100mの決勝レースについて

予選の結果、タイムレース上位16名の選手は、決勝レースに出場する権利が与えられる。

11. 応急処置について

競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。ただし、2019年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

12. 抗議と上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内(次ラウンドのある場合は15分以内)に、担当総務員を通じて口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は上訴申立書と預託金10,000円を添えて上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

13. その他

競技会において競技者はビデオ、音楽機器、ラジオ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内へ持ち込んではならない。

以上の事柄および今大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合もあるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。